

平成 24 年度第 2 回獣医学術功績者選考委員会の会議概要

I 日 時 平成 25 年 2 月 10 日 (土) 8:30 ~ 9:00

II 場 所 大阪国際交流センター・3 階 会議室 5

III 出席者

【委員長】 酒井 健夫 日本獣医師会学術担当理事 (日本大学生物資源科学部教授)

【産業動物部門委員】

明石 博臣 東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授
齋藤 康倫 千葉県農業共済組合連合会中央家畜診療所長
佐藤 繁 岩手大学農学部教授
澤田 勉 大阪府立大学名誉教授
中尾 敏彦 元山口大学農学部教授

【小動物部門委員】

西村 昌数 帯広畜産大学名誉教授
日笠 喜朗 鳥取大学農学部教授
丸尾 幸嗣 岐阜大学応用生物科学部教授

【公衆衛生部門委員】

石黒 直隆 岐阜大学応用生物科学部教授
林 賢一 滋賀県衛生科学センター滋賀県参事員
丸山 総一 日本大学生物資源科学部教授
山田 章雄 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
山本 茂貴 国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部長

【欠席委員】

佐藤れえ子 岩手大学農学部教授
木俣 新 木俣動物病院院長

【本 会】 矢ヶ崎忠夫 (専務理事)

IV 議 事

- 1 平成 24 年度第 1 回獣医学術功績者選考委員会の検討結果
- 2 平成 24 年度日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術学会賞」の選考

V 会議概要

1 平成 24 年度第 1 回獣医学術功績者選考委員会の検討結果

酒井委員長から、昨年 11 月 7 日開催の平成 24 年度第 1 回獣医学術功績者選考委員会において選考が行われた結果について確認を行い、異議なく了承された。

2 平成 24 年度日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術学会賞」の選考

酒井委員長から、獣医学術賞「獣医学術学会賞」の選考については獣医学術賞選考要領により、平成 24 年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（大阪市）において講演された地区学会長賞受賞講演が対象となることが説明され、本年度の獣医学術賞「獣医学術学会賞」は以下のとおり決定した。

【 産業動物部門 】

〔獣医学術学会賞〕

鶏サルモネラ症に対する卵内接種リポソームワクチンの開発

渡来 仁（大阪府立大学）、他

＜選考理由＞

本研究は、鶏サルモネラ症予防のため、リポソームにサルモネラ菌体成分を封入し、卵内接種ワクチンを開発し、これが応用可能であることを示したものである。免疫原を変更することで汎用的なワクチンの開発に応用できる可能性を示したことは、獣医学術の進歩に大きく貢献するものであり、獣医学術学会賞に該当するものである。

【 小動物部門 】

〔獣医学術学会賞〕

高アンモニア血症を呈したジヒドロピリミジナーゼ欠損症の猫の1例、動物における世界初例報告

柴田多嘉子（いずみ動物病院・愛知県）、他

＜選考理由＞

猫の高アンモニア血症を呈した1症例に対して病因を追求し、ジヒドロピリミジナーゼ欠損症と診断した報告である。日常よく遭遇する高アンモニア血症に対して、その病態解明のために実施した検索方法の妥当性と解析結果は本賞受賞に値する優れたものである。1症例を大切に、その異常原因を追求する姿勢は、臨床に従事する獣医師としての原点を再認識させた。

【 公衆衛生部門 】

〔獣医学術学会賞〕

MALDI-MS を用いた病原微生物の同定と分子疫学ツールとしての有用性評価

谷口喬子（宮崎大学）、他

＜選考理由＞

本研究は、菌体の主要構成蛋白質であるリボゾーム蛋白質の解析にマトリクス支援レーザー脱離イオン化質量分析法（MALDI-MS）を応用し、これまで分類が困難な菌種で大きな成果を得た。特に人獣共通感染症の原因菌として重要視される *Helicobacter* 群の細菌を迅速かつ簡便に同定した。今後、16S rRNA 遺伝子配列や生化学性状検査で同定が困難な菌種に応用が可能であり、臨床細菌学や公衆衛生上の分子疫学研究に新たな解析手法を提示した点を高く評価した。

VI まとめ

酒井委員長から次のことが確認された。

- (1) 平成 24 年度第 1 回委員会における検討結果と併せ、本年度の日本獣医師会獣医学術賞受賞業績は以下のとおり決定した。

【産業動物部門】

〔獣医学術奨励賞〕

Loop-mediated isothermal amplification 法を用いた馬鼻肺炎による
流産の診断法の検討 小山 毅 (北海道日高家畜保健衛生所)、他

〔獣医学術学会賞〕

鶏サルモネラ症に対する卵内接種リポソームワクチンの開発
渡未 仁 (大阪府立大学)、他

〔獣医学術功労賞〕

牛の遺伝性疾患の臨床診断、遺伝子診断の確立と牛群からの排除
小川博之 (東京大学・名誉教授)

【小動物部門】

〔獣医学術奨励賞〕

ミルリノンとカルペリチドの低用量併用療法を実施した重症心不全の犬 5 例
有田申二 (有田総合動物病院・広島県)、他

〔獣医学術学会賞〕

高アンモニア血症を呈したジヒドロピリミジナーゼ欠損症の猫の 1 例、
動物における世界初例報告 柴田多嘉子 (いずみ動物病院・愛知県)、他

〔獣医学術功労賞〕

獣医臨床病理学と内分泌・代謝疾病学に関する学術の振興と普及
小野憲一郎 (東京大学・名誉教授)

【公衆衛生部門】

〔獣医学術奨励賞〕

島根県におけるつつが虫病の疫学的検討
田原研司 (島根県保健環境科学研究所)、他

〔獣医学術学会賞〕

MALDI-MS を用いた病原微生物の同定と分子疫学ツールとしての有用性評価
谷口喬子 (宮崎大学)、他

〔獣医学術功労賞〕

フラビウイルス感染症の疫学的研究 高島郁夫 (北海道大学・名誉教授)

- (2) なお、日本獣医師会獣医学術賞の発表と賞の授与は、本日午後 1 時 15 分から同会場の 3 階・銀杏において開催することが事務局から報告された。